

あたことカード

「新しい骨董」への質問・感想をお書きください。

(新しい骨董が選んでお答えし、会場にて掲出します。
答えとともに、メンバーがツイッター (#新しい骨董_広島) で公開することがあります。)



2022年6月24日

お名前 (ペンネームでも OK)

エクトル・ルナ

「新しい骨董」からの答え



入場
無料

2018.7.14sat – 9.17mon

広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

開館時間：10時～17時 休館日：月曜日。ただし、7.16(月・祝)、8.6(月)、9.17(月・祝)は開館、7.17(火)、8.7(火)は休館。 会場：地下1階ミュージアムスタジオ

あたことカード

広島市現代美術館で開催中の「夏のオープンラボ：新しい骨董」には、「あたことカード」という質問カードが設置されている。下道氏曰く、これは生協とかデパートのエレベーターとかトイレの近くの壁にひっそりと設置されている質問カード(ひとことカード)を模したもので、とのこと。まあ要するに、新しい骨董への質問があれば、会期中、会場を訪れた人なら誰もが質問を書いて、投函できる代物だ。

さらに、デパートにいくとそういう質問カードの一部が、回答と合わせて壁に貼られている風景を見たことのある人はいるだろう。しかし、ちゃんとじっくり読んだことのある人もないだろう。僕は、職業柄いろんなメディアを捜して歩いているところもあって、そういうものに目が止まることもある。

しかも、今回の展示では、こうした質問-回答の組み合わせも展示会場で随時貼り出され増殖していく。質問カードそのものだけではなく、その掲示方法、さらには質問者への回答という形式までがそっくりそのままパクられているのが「あたことカード」の特徴だ。

僕自身、というかメンバー全員がそう思っていると思うけれど、新しい骨董は「メディアを遊ぶ」ということを当初から意識していたと思う。そもそも二人を誘って一緒にやろうと話した時も、二人ともそれぞれ活動のベクトルが違うし、かなり編集者っぽい表現者だという感覚があったからだ。

編集者的であるということは、当然、メディアに対する興味関心も普通の人に比べたら高い。それは例えば「月刊 新しい骨董」だとか、「ここでしか読めない新聞」にも表れている。

いわゆる「メディアアート」とは違うけれども、メディアアートとは違ったかたちで「メディアを遊んでいる」のが新しい骨董だと思うのだ。

僕は2016年に、全国各地でユニークなフリーペーパー、雑誌、本などの作り手たち取材した『ローカルメディアのつくりかた』(学芸出版社)という本を書いたのだけれど、その取材の過程の中で、ローカルメディアには、マスメディアのように発信者から受け手へと一方的に情報を発信するものだけではなく、相互に発信しあうものもあるのだということを知った。

そして「あたことカード」は、展覧会を見に行くだけでなく、その感想を書いて、回答が読めるようにしている。さらに、回答が思わぬところ(ツイッター)で読めたりもする。展示会場という空間から解き放たれ、ネット上で拡散する。ぜひみんなも新しい骨董の「メディア遊び」に参加してみてください。

影山裕樹

——「新しい骨董」ウェブサイトより(一部改定および抜粋)

○表の画像／「あたことカード」で寄せられた質問・感想と回答の例

新しい骨董

NEW ANTIQUE

「新しい骨董」は、山下陽光(ファッションブランド「途中でやめる」主宰、1977-)、下道基行(アーティスト、1978-)、影山裕樹(編集者、1982-)の3名による、実験的な活動を行うグループです。街中や、インターネット上に溢れる「「新しい骨董」でもいうべき何か」の探索や実践を通して、新しい価値、新しい美を探究しています。本企画では、そんな彼らによる、自由(すぎる)研究が繰り広げられます。

「夏のオープンラボ」は多彩な表現活動について様々な方法による紹介を試み、美術館活動の可能性を探る、当館における実験場としての企画です。

【プロフィール】●下道基行…1978年、岡山生まれ。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。写真や文章を表現手段に、モノ/コトの残り方/消え方、目の前に広がる風景の在り方に興味を持ち、旅やフィールドワークをベースに、数多くの展示や出版等で表現を続けている。愛知県名古屋市在住。

●山下陽光…1977年、長崎生まれ。高円寺の古着屋「素人の乱シランプリ」元店主。「途中でやめる」という名の服を発表するかわり、戦後原爆ドームの前に出来たアトム書房の調査など、インターネットに転がるユニークな情報を探り、現代に接続する様々な活動を行なっている。福岡県福岡市在住。

●影山裕樹…1982年、東京生まれ。雑誌編集部、出版社勤務後フリーに。数々のアート&カルチャー書の出版プロジェクトに編集者として関わっている。著書に「大人が作る秘密基地」など。合同会社千十一編集室代表。東京都豊島区在住。

【公式ホームページ】 <http://atarashiiKotto.com>

広島市現代美術館

Tel.082-264-1121

732-0815 広島市南区比治山公園1-1

<https://www.hiroshima-moca.jp>



Facebook・Twitterは [Hiroshima MOCA](#) で検索

【駐車のご案内】美術館専用の駐車場はありませんので、周辺の駐車場をご利用ください。①比治山公園内(約120台分、無料、利用時間 9:00~19:00)②広島段原ショッピングセンター駐車場(1階サービスカウンターへ当館の入館証明提示で当日に限り3時間無料)

